



2025年2月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年7月10日

上場会社名 株式会社ジェイグループホールディングス

上場取引所 東

コード番号 3063 URL <http://www.jgroup.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中川 晃成

問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 林 芳郎

TEL 052-243-0026

四半期報告書提出予定日 2024年7月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期第1四半期の連結業績(2024年3月1日～2024年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第1四半期	2,717	5.6	166	275.3	175		154	394.2
2024年2月期第1四半期	2,573	55.8	44		7		31	53.8

(注) 包括利益 2025年2月期第1四半期 149百万円 (402.4%) 2024年2月期第1四半期 29百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期第1四半期	11.62	11.60
2024年2月期第1四半期	1.49	1.49

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期第1四半期	9,056	1,712	18.3
2024年2月期	9,149	1,595	16.9

(参考) 自己資本 2025年2月期第1四半期 1,661百万円 2024年2月期 1,547百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2024年2月期	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年2月期		0.00		3.00	3.00
2025年2月期(予想)		2.00		2.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年2月期の連結業績予想(2024年3月1日～2025年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,550	1.1	350	13.0	315	3.3	265	7.2	17.33

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2025年2月期1Q	12,328,700 株	2024年2月期	12,177,400 株
期末自己株式数	2025年2月期1Q	200,153 株	2024年2月期	200,153 株
期中平均株式数(四半期累計)	2025年2月期1Q	12,084,815 株	2024年2月期1Q	11,656,374 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりであります。

A種種類株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	—	—	—	—
2024年2月期	—	—	—	143,881.51	143,881.51
2025年2月期(予想)	—	—	—	50,000.00	50,000.00

※2024年2月期のA種種類株式は、累積条項を基に計算をしております。

B種種類株式	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年2月期	—	—	—	40,113.97	40,113.97
2024年2月期	—	—	—	40,109.59	40,109.59
2025年2月期(予想)	—	—	—	40,000.00	40,000.00

※2023年2月期のB種種類株式は、累積条項を基に計算をしております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済社会活動が活性化し、個人消費の回復やインバウンド需要の増加等を背景に、緩慢的ながらも、景気回復の動きが続いております。一方で、エネルギー価格の上昇や円安に伴う物価上昇、ロシア・ウクライナ情勢の長期化や、金融引き締めによる影響などから、依然として先行き不透明な状態が続いております。

外食産業におきましても、人流の増加に伴い売上高は増加しているものの、仕入価格の高止まりや、人手不足など、厳しい経営環境が続いております。

このような環境のもと、当社グループでは、人員配置の適正化や生産性の向上、本社費用の削減に引き続き取り組むとともに、既存店舗のリニューアル、及び業態開発に取り組んでおります。当第1四半期連結累計期間の直営店の出退店におきましては、2店舗を閉店いたしました。これにより、2024年5月末日現在の業態数及び店舗数は、61業態109店舗（国内100店舗、海外1店舗、FC8店舗）となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は2,717百万円（前年同期比5.6%増）、営業利益は166百万円（前年同期比275.3%増）、経常利益は175百万円（前年同期は経常損失7百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は154百万円（前年同期比394.2%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 飲食事業

飲食事業におきましては、既存店舗の改修に取り組みました。2024年5月「三枮三蔵」（宮城県仙台市）、「芋蔵」（東京都新宿区）の内装の大きな修繕工事を行いました。

また、2024年3月「猿Cafe」（東京都町田市）、5月「猿Cafe」（東京都新宿区）を閉店いたしました。

その結果、飲食事業における売上高は2,557百万円（前年同期比5.9%増）、営業利益は379百万円（同109.7%増）となりました。

② 不動産事業

吸収合併の影響により、セグメント間の賃貸売上が減少いたしました。

その結果、不動産事業における売上高は118百万円（前年同期比69.1%減）、営業利益は27百万円（同45.1%減）となりました。

③ その他の事業

卸売業及び人材派遣業等のその他の事業における売上高は69百万円（前年同期比16.5%減）、営業損失は29百万円（前年同期は営業損失40百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は9,056百万円（前連結会計年度末比92百万円減少）となり、負債は7,343百万円（同209百万円減少）、純資産は1,712百万円（同117百万円増加）となりました。

流動資産につきましては、前連結会計年度末に比べ総額で144百万円減少し1,845百万円となりました。これは、剰余金の配当などにより現金及び預金が134百万円減少したことなどが主な要因であります。

固定資産につきましては、前連結会計年度末に比べ51百万円増加し7,210百万円となりました。これは、店舗設備の取得などにより有形固定資産が56百万円増加したことなどが主な要因であります。

流動負債につきましては、前連結会計年度末に比べ151百万円減少し1,460百万円となりました。これは、未払金が95百万円減少したこと、預り金が28百万円減少したことなどが主な要因であります。

固定負債につきましては、前連結会計年度末に比べ58百万円減少し5,883百万円となりました。これは、長期借入金金が54百万円減少したことなどが主な要因であります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ117百万円増加し1,712百万円となりました。これは、新株予約権の行使による株式の発行により資本金及び資本剰余金がそれぞれ44百万円増加したこと、剰余金の配当により資本剰余金が119百万円減少したこと、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が154百万円増加したことなどが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期の連結業績予想につきまして、2024年4月10日に公表いたしました業績予想から現時点において変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,264,835	1,130,722
売掛金	346,846	396,185
棚卸資産	106,521	97,005
その他	272,080	221,704
流動資産合計	1,990,284	1,845,618
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,072,452	2,046,043
土地	3,620,761	3,620,761
その他(純額)	197,487	280,205
有形固定資産合計	5,890,701	5,947,010
無形固定資産		
のれん	294,401	287,054
その他	4,323	9,018
無形固定資産合計	298,725	296,073
投資その他の資産		
投資有価証券	7,330	7,330
差入保証金	849,949	850,582
その他	140,085	137,700
貸倒引当金	△28,032	△27,957
投資その他の資産合計	969,332	967,655
固定資産合計	7,158,758	7,210,738
繰延資産		
社債発行費	46	11
繰延資産合計	46	11
資産合計	9,149,089	9,056,368

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	264,779	279,391
1年内償還予定の社債	5,000	5,000
1年内返済予定の長期借入金	464,400	451,939
未払金	602,917	507,147
未払法人税等	18,938	14,389
未払消費税等	103,711	111,219
株主優待引当金	12,476	—
預り金	38,080	10,056
その他	101,724	81,575
流動負債合計	1,612,026	1,460,720
固定負債		
長期借入金	5,116,924	5,061,949
繰延税金負債	645,117	645,117
資産除去債務	65,391	62,109
その他	114,161	113,960
固定負債合計	5,941,595	5,883,136
負債合計	7,553,622	7,343,856
純資産の部		
株主資本		
資本金	85,786	23,974
資本剰余金	4,595,083	4,627,124
利益剰余金	△2,992,039	△2,837,799
自己株式	△76,122	△76,122
株主資本合計	1,612,708	1,737,176
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△65,314	△76,076
その他の包括利益累計額合計	△65,314	△76,076
新株予約権	6,300	4,030
非支配株主持分	41,773	47,380
純資産合計	1,595,467	1,712,511
負債純資産合計	9,149,089	9,056,368

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)
売上高	2,573,637	2,717,866
売上原価	861,765	875,656
売上総利益	1,711,871	1,842,210
販売費及び一般管理費	1,667,641	1,676,197
営業利益	44,230	166,012
営業外収益		
受取利息	36	329
為替差益	7,046	15,616
協賛金収入	4,777	2,025
その他	3,808	5,075
営業外収益合計	15,668	23,047
営業外費用		
支払利息	16,488	12,286
金利スワップ評価損	48,463	—
その他	2,166	1,497
営業外費用合計	67,117	13,783
経常利益又は経常損失(△)	△7,218	175,276
特別利益		
固定資産売却益	36	—
貸倒引当金戻入額	156	—
補助金収入	60,000	—
特別利益合計	60,192	—
特別損失		
固定資産除却損	0	0
店舗閉鎖損失	12,241	850
減損損失	483	242
その他	3,100	—
特別損失合計	15,824	1,092
税金等調整前四半期純利益	37,148	174,184
法人税等	2,618	14,337
四半期純利益	34,530	159,846
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,317	5,607
親会社株主に帰属する四半期純利益	31,212	154,239

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)
四半期純利益	34,530	159,846
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△4,854	△10,761
その他の包括利益合計	△4,854	△10,761
四半期包括利益	29,675	149,085
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	26,357	143,477
非支配株主に係る四半期包括利益	3,317	5,607

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第1四半期連結累計期間において、第三者割当による新株予約権の権利行使により、資本金及び資本準備金がそれぞれ44,717千円増加しました。

また、当社は、2024年5月30日開催の第23回定時株主総会の決議により、2024年5月30日付で、会社法第447条第1項及び第448条第1項の規定に基づき、資本金及び資本準備金をそれぞれ106,529千円減少し、その同額をその他資本剰余金に振り替えております。なお、株主資本の合計額への影響はありません。

この結果、当第1四半期連結会計期間末において資本金が23,974千円、資本剰余金が4,627,124千円、利益剰余金が△2,837,799千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飲食	不動産	計				
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	2,412,986	99,731	2,512,717	60,919	2,573,637	—	2,573,637
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	861	282,988	283,849	21,963	305,813	△305,813	—
計	2,413,847	382,719	2,796,567	82,883	2,879,450	△305,813	2,573,637
セグメント利益又は 損失(△)	181,006	50,259	231,266	△40,452	190,814	△146,583	44,230

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、卸売業及び人材派遣業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△146,583千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」セグメントにおいて、減損損失を483千円計上しております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	飲食	不動産	計				
売上高							
(1) 外部顧客への 売上高	2,556,501	102,064	2,658,566	59,300	2,717,866	—	2,717,866
(2) セグメント間の 内部売上高又は 振替高	733	16,264	16,997	9,946	26,944	△26,944	—
計	2,557,234	118,329	2,675,564	69,247	2,744,811	△26,944	2,717,866
セグメント利益又は 損失(△)	379,593	27,602	407,196	△29,774	377,422	△211,409	166,012

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、卸売業及び人材派遣業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△211,409千円は、セグメント間取引消去及び各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「その他」セグメントにおいて、減損損失を242千円計上しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年5月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額
	飲食	不動産	計		
直営店売上	2,304,364	—	2,304,364	60,919	2,365,284
F C売上	108,418	—	108,418	—	108,418
店舗外売上	203	—	203	—	203
顧客との契約から生じる収益	2,412,986	—	2,412,986	60,919	2,473,905
その他の収益 (注)2	—	99,731	99,731	—	99,731
外部顧客への売上	2,412,986	99,731	2,512,717	60,919	2,573,637

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、卸売業及び人材派遣業等を含んでおります。

2. 「その他の収益」には、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号 2007年3月30日)に基づく賃貸収入が含まれております。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年5月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額
	飲食	不動産	計		
直営店売上	2,453,363	—	2,453,363	59,300	2,512,664
F C売上	103,138	—	103,138	—	103,138
顧客との契約から生じる収益	2,556,501	—	2,556,501	59,300	2,615,802
その他の収益 (注)2	—	102,064	102,064	—	102,064
外部顧客への売上	2,556,501	102,064	2,658,566	59,300	2,717,866

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、卸売業及び人材派遣業等を含んでおります。

2. 「その他の収益」には、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号 2007年3月30日)に基づく賃貸収入が含まれております。

(重要な後発事象)

(店舗の立退きに伴う特別利益の計上)

当社は、2025年2月期第2四半期会計期間において、下記のとおり特別利益を計上する見込みとなりました。

1. 店舗の立退きに伴う特別利益の計上及びその内容

当社は、営業店舗物件の退店要請に伴う立退きに応じ、直営店舗である「芋蔵 青山店」を閉店することとなりました。これにより、特別利益として解約合意金約150百万円を2025年2月期第2四半期に計上する見込みです。

2. 今後の見通し

上記の特別利益について、通期連結業績予想に一部を見込んでおりますが、他の要因も含めて現在精査中であり、